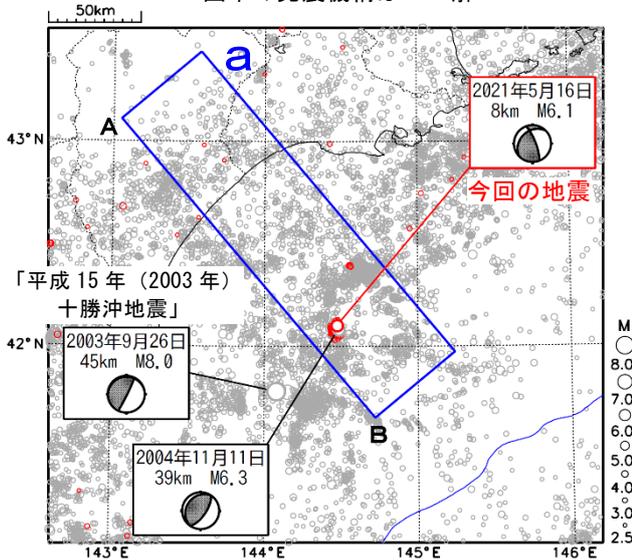


5月16日 十勝沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔釧路沖〕である。

震央分布図
 (2001年10月1日～2021年5月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 2.5$)
 2021年5月の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解

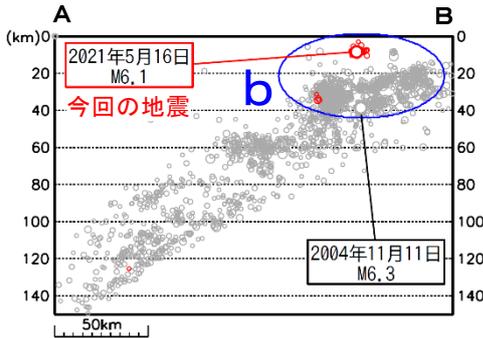


2021年5月16日12時23分に十勝沖の深さ8kmでM6.1の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ型である。

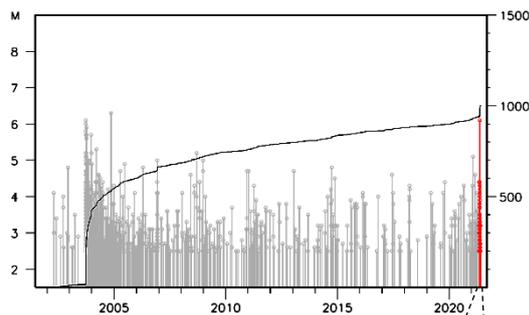
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が今回の地震を含め4回発生しており、そのうち3回は2003年から2004年にかけて発生している。今回M6.0以上の地震が発生したのは2004年11月11日以来である。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。2003年9月26日の「平成15年（2003年）十勝沖地震」（M8.0、最大震度6弱）では、十勝港で255cmの津波を観測するなど、主に北海道から四国の太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、北海道では行方不明者2人、負傷者847人、住家被害2,065棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

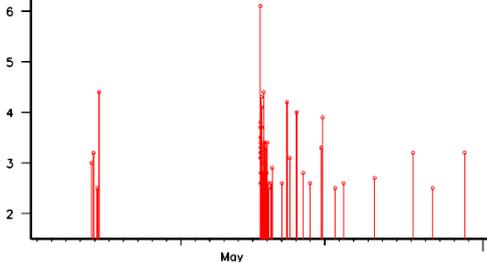
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図

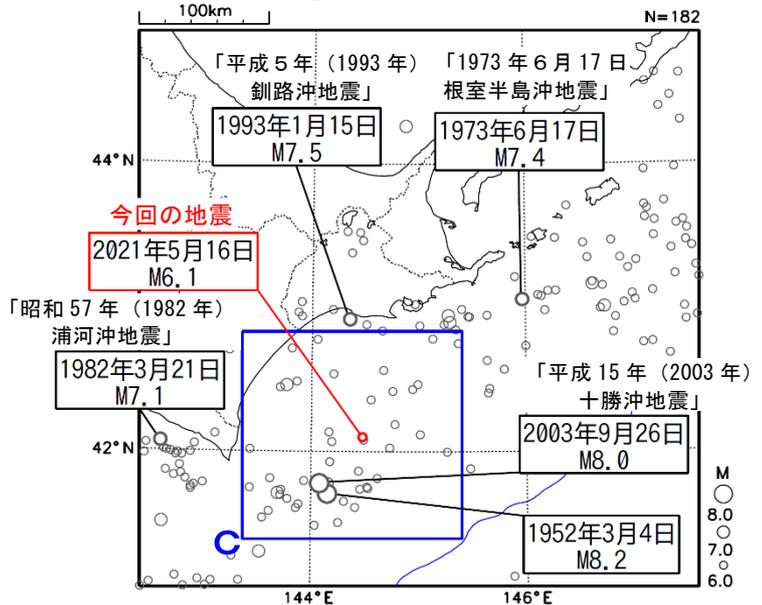


(2021年5月1日～31日)



震央分布図

(1919年1月1日～2021年5月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

